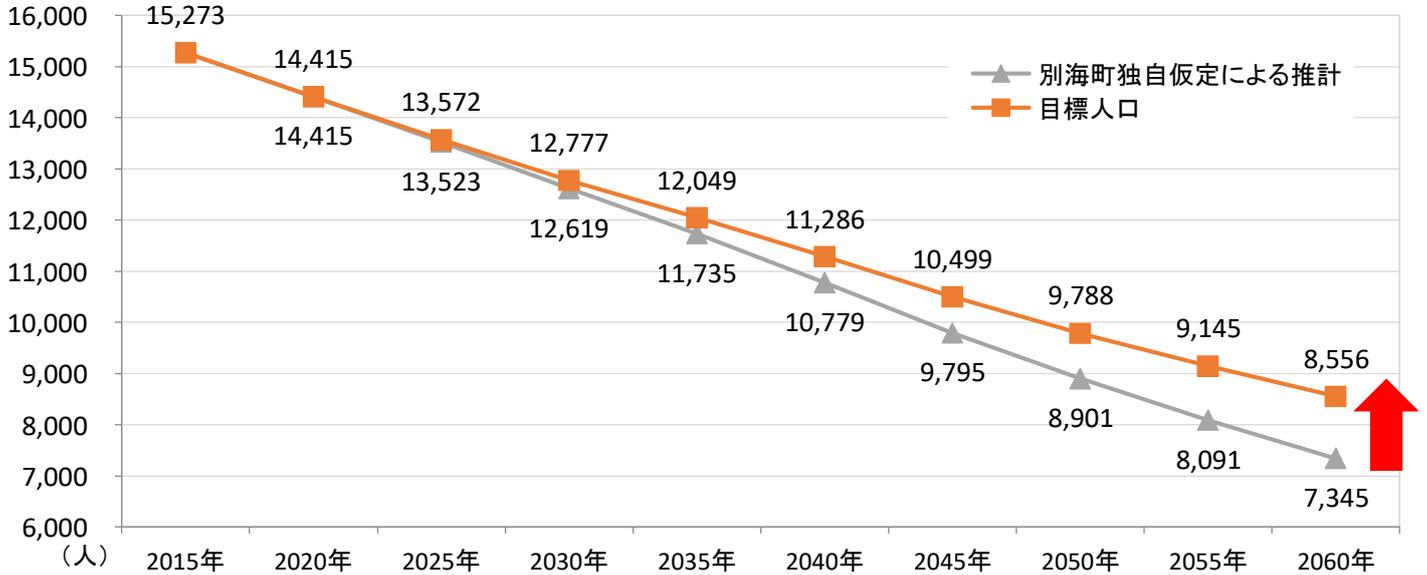


令和5年度  
別海町まち・ひと・しごと創生総合戦略  
効果検証報告書

別海町  
総務部総合政策課

「第2期総合戦略」では、新たに行った将来人口の推計を基に、2060年における本町の目標総人口を8,500人以上と設定し、その目標達成に向け、今後の人口減少対策として4つの基本目標を掲げました。

○ 将来人口の推計と目標人口



基本目標

具体的な施策

I 町の産業を担う次世代へ安定した雇用を創出し、これを支える人材を育て活かす

- (ア) 新規就業者・担い手支援
- (イ) 産業の競争力強化
- (ウ) 若者人材の育成と定着の取組
- (エ) 地域と連携した特色ある教育の推進

II 魅力あふれる地域資源・地域特性を活かした新しいひとの流れを創造する

- (ア) 地域資源を活かした交流人口拡大の取組
- (イ) ふるさと納税を活用した関係人口拡大の取組
- (ウ) 移住促進を図る移住体験施設の整備

III 結婚・出産・子育ての希望をかなえる、誰もが活躍できる地域社会をつくる

- (ア) 結婚・出産・子育ての切れ目のない支援
- (イ) 高齢者の生きがいづくりと社会参加の促進や住みよいまちづくりの推進

IV 時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守る

- (ア) 安心な暮らしの確保
- (イ) 市街地の活性化
- (ウ) 効率的・複合的な施設整備と地域活性化
- (エ) スポーツ・健康まちづくりの推進
- (オ) 環境・エネルギー先進自治体の形成

## Ⅱ 総合戦略の評価について

### 1 評価の目的

別海町まち・ひと・しごと創生総合戦略(以下「総合戦略」という。)に位置付けた各施策の更なる推進に向けた課題の改善を図り、より一層高い効果を発揮させることを目的とする。

### 2 進捗管理と推進体制

～総合戦略 第4章 一部抜粋～

総合戦略では、基本目標ごとに明確な数値目標を設定するとともに、基本目標を達成するための具体的な施策ごとに、施策の効果を客観的に検証できる指標「重要業績評価指標(KPI)」を設定します。

毎年度、具体的な事業の実施状況などをもとに、それぞれの施策の効果を検証するとともに、「別海町まち・ひと・しごと創生総合戦略検討推進委員会」の意見等をいただきながら、改善・推進していく仕組み(PDCAサイクル)を確立します。

- 重要業績評価指標(KPI)とは 【Key Performance Indicator】  
施策ごとの進捗状況を検証するために設定する指標
- PDCAサイクルとは 【Plan-Do-Check-Action】  
Plan(計画)、Do(実施)、Check(評価)、Action(改善)の4つの視点をプロセスの中に取り込むことで、プロセスを不断のサイクルとし、継続的な改善を推進するマネジメント手法

### 3 評価の流れ

- ① 1次評価:事務事業の担当者が分析し、部課単位で評価
- ② 別海町まち・ひと・しごと創生総合戦略検討推進委員会による検証
- ③ 2次評価:②の評価結果を基に、総合的に再評価
- ④ 公表(町HP)

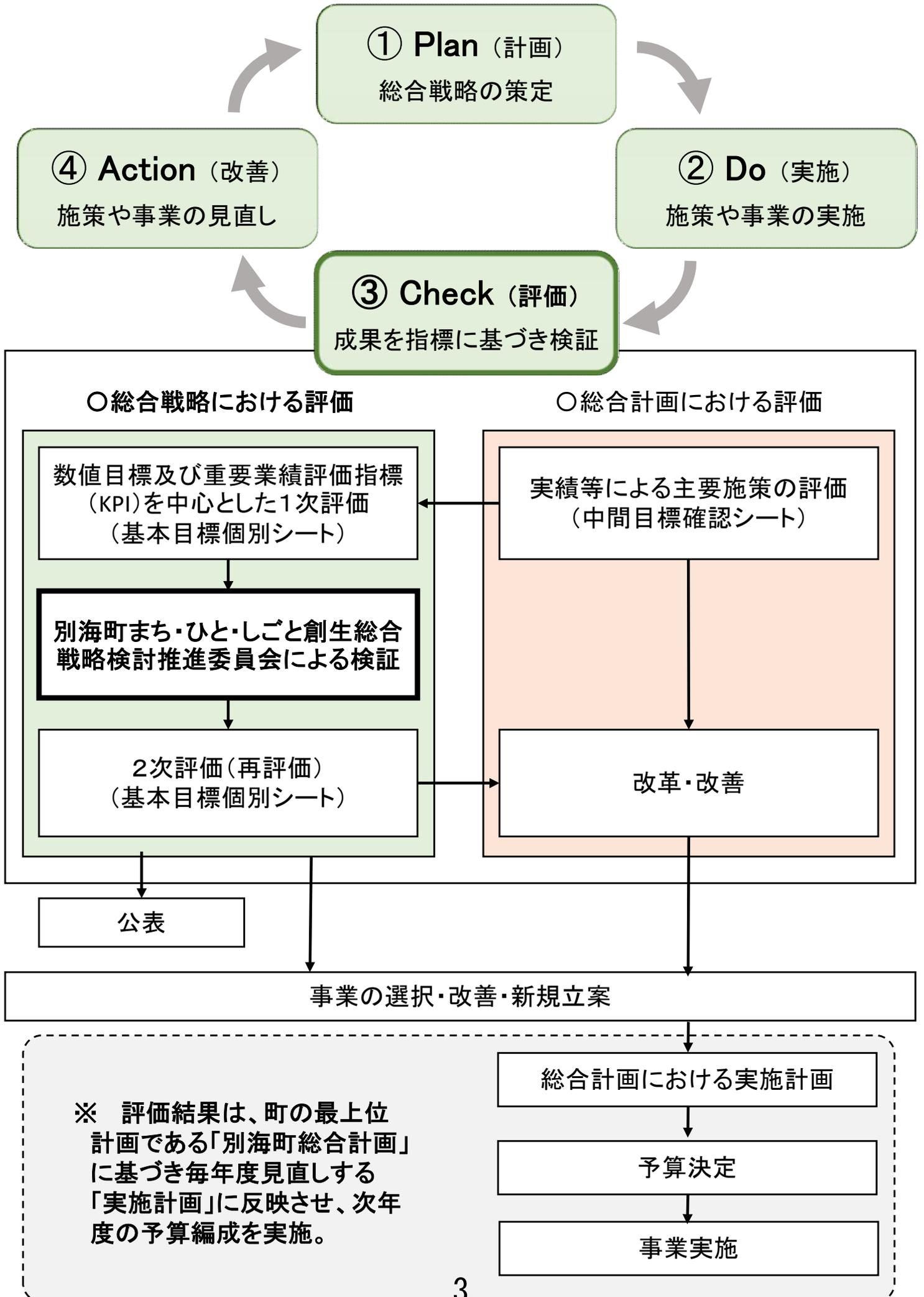
### 4 評価手法

総合戦略の評価は、「総合戦略の総合評価」、「基本目標の評価」及び「具体的な施策と重要業績評価指標(KPI)の進捗確認」で構成する。

なお、検証に当たっては、「数値目標」及び「重要業績評価指標(KPI)」の達成度に重点を置き、施策を推進する上での課題などその他考慮すべき事項等を勘案し、総合的に判断する。

○評価区分 ※令和3年度評価からD区分を設け、4段階評価に変更。

- A: 順調に進んでいる
- B: 概ね順調に進んでいる
- C: あまり順調に進んでいない
- D: ほとんど順調に進んでいない

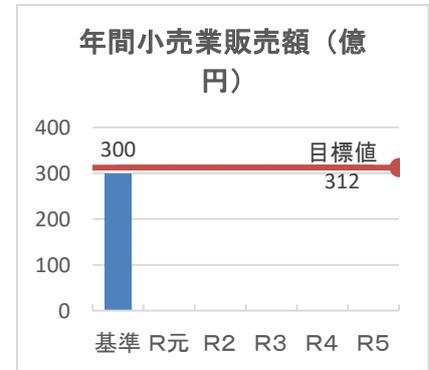
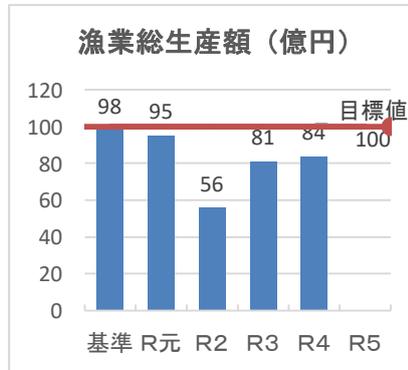
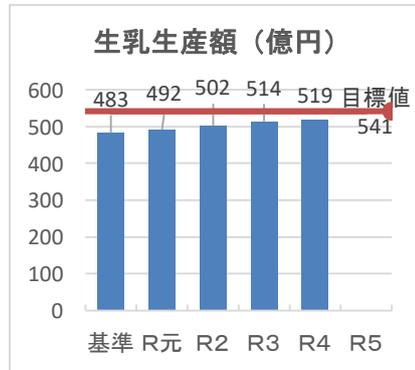


# 別海町まち・ひと・しごと創生総合戦略 基本目標個別シート(令和4年度)

基本目標 I	町の産業を担う次世代へ安定した雇用を創出し、これを支える人材を育て活かす							
関連するSDGsのゴール	1 貧困をなくそう	2 飢餓をゼロに	4 質の高い教育をみんなに	8 働きがいも経済成長も	9 産業と技術革新の基盤をつくろう	12 つくる責任 つかう責任	14 海の豊かさを守ろう	15 陸の豊かさも守ろう

## 1. 数値目標の進捗状況

項目	基準値 (H30)	実績値					目標値 (R6)	達成度
		R元	R2	R3	R4	R5		
生乳生産額 (億円)	483	492	502	514	519	541	96%	
漁業総生産額 (億円)	98	95	56	81	84	100	84%	
年間小売業販売額 (億円)	300	—	—	—	—	312	—	



## 2. 具体的な施策

(ア)新規就農・担い手支援	酪農研修牧場整備事業、農業人材力強化総合支援事業、担い手プロジェクト事業、新規就農者等支援事業、地域おこし協力隊推進事業、別海町漁業後継者就業支援事業、起業家支援事業、地域雇用活性化推進事業、中小企業担い手育成事業、UIJターン新規就業支援事業
(イ)産業の競争力強化	酪農工場整備事業、農林漁業振興奨励事業
(ウ)若者人材の育成と定着の取組	北海道別海高等学校教育支援事業
(エ)地域と連携した特色ある教育の推進	別海型コミュニティ・スクール推進事業

## 3. 重要業績評価指標(KPI)の進捗状況

項目	基準値 (H30)	実績値					目標値 (R6)	達成度
		R元	R2	R3	R4	R5		
新規就農者数【期間累計】(戸)	4	1	4	7	7	15	47%	
漁業就業支援者数【期間累計】(人)	8	3	4	10	13	12	108%	
起業家支援件数(件)	3	11	8	15	6	7	86%	

項目	基準値 (H30)	実績値					目標値 (R6)	達成度
		R元	R2	R3	R4	R5		
別海ブランド高付加価値製品開発数【期間累計】(個)	6 (H21~)	2	4	5	6		4	150%
地場水産物の高付加価値や新企画商品の開発【期間累計】(件)	1 (H21~)	0	0	0	1		3	33%
高校新卒町内就職者数(人)	20	18	18	15	14		22	64%
北海道別海高等学校普通科の間口確保(学級)	3	3	3	3	3		3	100%
酪農経営科生徒数(人)	11	7	14	5	8		40	20%
高校新卒就職希望者のうち町内就職率(%)	56	56	47	42	44		62	71%
コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)を導入している学校区割合(%)	12.5	50	100	100	100		100	100%

#### 4. 基本目標の評価

<p>生乳生産額は、生産抑制が行われている状況であるが、事業者の自助努力に加え、各種基盤整備事業を通じた生産基盤の拡大などにより、1戸当たりの飼養頭数や乳量が増加傾向にあり、令和3年度に続き令和4年度も生乳生産量50万トンを達成した。</p> <p>漁業生産額は、ホタテ漁は好調であったものの、近年の秋サケ漁の激減に加え、コロナ禍の影響により生産調整等を余儀なくされたことに伴い落ち込んだ。</p> <p>小売販売額に関しては、小売販売業全般がコロナ感染拡大の影響を大きく受けているが、野付漁業協同組合では「龍神ホッキ」のブランド化を行ったことや、株式会社べつかい乳業興社ではJA専用の「JAバナラ」を開発する等、昨年度に引き続き、今後の効果発現に期待ができる実績となった。</p>	総合判定
	<b>B</b>
	概ね順調に進んでいる

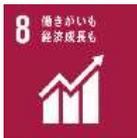
#### 5. 今後の展開方針

<p>生産抑制等、今後も厳しい状況が続くことが予想されるが、乳製品の消費拡大を図り、課題への対策を怠らず目標の達成を目指す。また、新規就農者の確保に向け、新規就農者フェアへの出展や農業学校への訪問を行い、研修生募集活動を継続して実施する。</p> <p>また、秋サケ資源の回復、安定化に向けた取組や、アサリ、ホッキ、ホタテ、ニシン等の種苗放流等の実施による「つくり育てる漁業」の推進に努めるとともに、新型コロナウイルス感染拡大により影響を受けた事業者が経営を持続していくための基盤強化支援や消費喚起対策を実施していく。</p> <p>さらに、雇用対策として、就職希望者のうち町内就職者の地元企業との懇談会や職場訪問事業の実施、別海町企業マップの掲載内容の見直し等、引き続き関係団体と連携して取組を推進していく。</p>
---

#### 6. 検討推進委員会の意見等

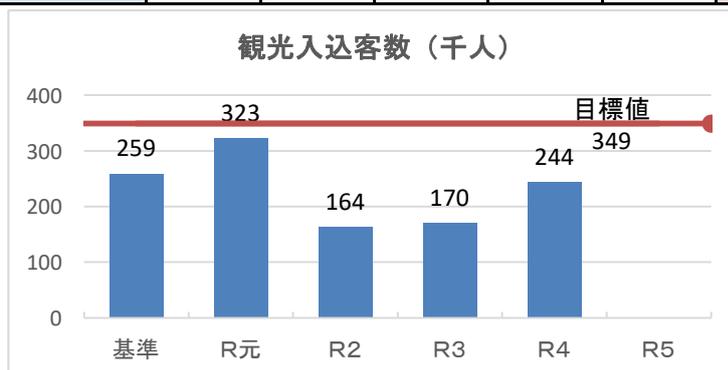
<ul style="list-style-type: none"> <li>・魅力ある企業の誘致が必要だと思えます。撤退する明治の工場の従業員数を上回るような企業が町内に来れば、高校などを卒業した後の受け皿になりますし、Uターンにもつながります。</li> <li>・離農者が一向に減らない状況が危惧される。今後離農が予測される酪農家を救える戦略は組めないものか。</li> </ul>
--

## 別海町まち・ひと・しごと創生総合戦略 基本目標個別シート(令和4年度)

基本目標Ⅱ	魅力あふれる地域資源・地域特性を活かした新しいひとの流れを創造する		
関連するSDGsのゴール			

### 1. 数値目標の進捗状況

項目	基準値 (H30)	実績値					目標値 (R6)	達成度
		R元	R2	R3	R4	R5		
観光入込客数(千人)	259	323	164	170	244		349	70%



### 2. 具体的な施策

(ア) 地域資源を活かした交流人口の拡大	観光情報整備事業、えびまつり開催事業、西別川あきあじまつり開催事業、産業祭開催事業、野付半島ネイチャーセンター整備事業、キャンプ場整備事業、パイロットマラソン事業、奥行地区文化財保存整備事業、ヤチカンバ群落地保護事業
(イ) ふるさと納税を活用した関係人口拡大の取組	ふるさと応援推進事業
(ウ) 移住促進を図る移住体験施設の整備	移住定住促進事業、地域おこし協力隊推進事業、担い手プロジェクト、UIターン新規就業支援事業

### 3. 重要業績評価指標(KPI)の進捗状況

項目	基準値 (H30)	実績値					目標値 (R6)	達成度
		R元	R2	R3	R4	R5		
新規観光メニュー(開発)【期間累計】(数)	2 (H21~)	0	3	5	5		3	167%
パイロットマラソン参加者数【町外フル・5km】(人)		1,139 (基準値)	0	0	1,116		1,200	93%
文化財施設の入場者数(人)		3,288 (基準値)	1,242	1,575	1,940		3,000	65%
ふるさと納税寄附件数(件)	2,239	2,789	9,950	195,986	478,925		900,000	53%
移住体験施設利用者数(人)	0	0	0	0	14		15	93%

#### 4. 基本目標の評価

<p>新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、えびまつり、あきあじまつりは中止となったが、潮干狩りフェスティバルと産業祭を3年ぶりに開催することができた。</p> <p>また、野付半島へのバスツアー観光等が再開されたことや、野付半島ネイチャーセンターでは、知床ねむろ観光連盟の事業で購入したファットバイクを活用し、「野付半島レンタル・ファットバイク・ロード」を整備したほか、かつてのトドワラを感じさせる「オンネニクル・ポンニクルの森ツアー」を造成したことにより、観光入込客数が増加した。</p> <p>さらに、ふるさと納税の返礼品を拡充したことや特産品の魅力をPRしたことにより、昨年度に続き寄附件数を伸ばし、関係人口の創出に大きく寄与した。</p>	総合判定
	<b>B</b>
	概ね順調に進んでいる

#### 5. 今後の展開方針

<p>令和5年5月から新型コロナウイルス感染症の位置づけが5類になったことに伴い、パイロットマラソンはほぼ例年通りの開催内容となるため、参加者数は前年よりも増加することが見込まれる。また、観光入込客数は回復傾向にあるが、コロナ禍前の水準には戻っていないため、各種イベントの再開、交通歴史遺産の観光分野での活用、自然や文化を活用した事業展開等により、観光入込客数の増加を図る必要がある。</p> <p>また、寄附件数が大きく伸長しているふるさと納税を通じ、観光資源や特産品のPRを強化するとともに、令和4年度から運用を開始した移住体験住宅を核とした移住促進プロモーションを展開し、関係人口・交流人口の増加に努める。</p>
--

#### 6. 検討推進委員会の意見等

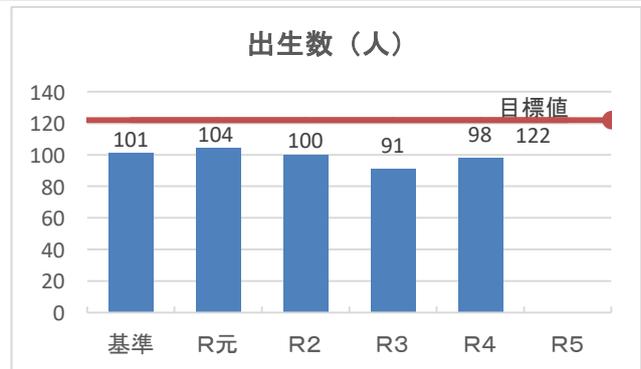
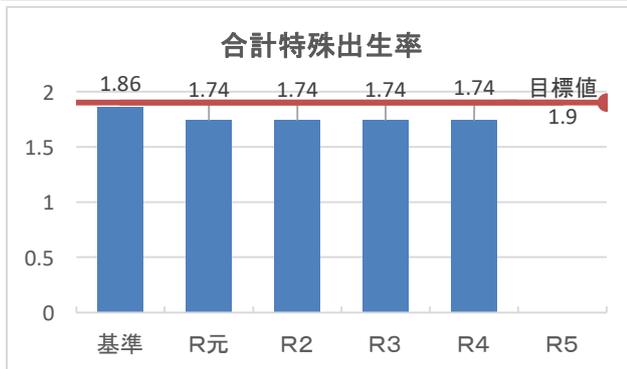
<ul style="list-style-type: none"><li>・町外の人を感じる魅力ある地域資源が何かを的確にとらえなければ、うまくいかないかもしれません。</li><li>・ふるさと納税寄附の目標値が現状とかけ離れすぎている。ふるさと納税とは自分の故郷や応援したい自治体への寄附ですが、返礼品によっては若干の変動は考えられますが、極端に減るとは考えづらいのではないのでしょうか。</li></ul>
---

# 別海町まち・ひと・しごと創生総合戦略 基本目標個別シート(令和4年度)

基本目標Ⅲ	結婚・出産・子育ての希望をかなえる、誰もが活躍できる地域社会をつくる		
関連するSDGsのゴール	 3 すべての人に健康と福祉を	 5 ジェンダー平等を實現しよう	 8 働きがいも経済成長も

## 1. 数値目標の進捗状況

項目	基準値 (H30)	実績値					目標値 (R6)	達成度
		R元	R2	R3	R4	R5		
合計特殊出生率	1.86 (H20~24)	1.74 (H25~29)	1.74 (H25~29)	1.74 (H25~29)	1.74 (H25~29)		1.9	92%
出生数(人)	101	104	100	91	98		122	80%



## 2. 具体的な施策

(ア)結婚・出産・子育ての切れ目のない支援	特定不妊治療費助成事業、妊婦健康診査事業、産婦健康診査事業、出産祝金贈呈事業、産後ケア事業、乳児家庭全戸訪問事業、子育て支援拠点事業、乳幼児母親家庭教育学級、放課後児童クラブ事業、一時預かり事業、養育支援訪問事業、子どもを守る地域ネットワーク機能強化事業、ファミリー・サポート・センター事業、子ども医療費助成事業、障がい者等理解促進研修・啓発事業、産業後継者との交流会支援
(イ)高齢者の生きがいづくりと社会参加の促進や住みよいまちづくりの推進	共生型地域福祉拠点事業の推進、高齢者緊急通報システム運営事業、公的介護施設等基盤整備事業、介護職員確保対策事業、寿大学

## 3. 重要業績評価指標(KPI)の進捗状況

項目	基準値 (H30)	実績値					目標値 (R6)	達成度
		R元	R2	R3	R4	R5		
子育て支援センター利用者数【延べ】(人)	4,859	3,488	2,823	1,857	1,084		4,600	24%
乳幼児母親家庭教育学級利用者数【延べ】(人)	2,741	1,588	2,749	709	1,084		2,800	39%
障がい者等理解促進研修・啓発事業の参加者数(人)	125	—	99	179	38		150	25%

項目	基準値 (H30)	実績値					目標値 (R6)	達成度
		R元	R2	R3	R4	R5		
共生型地域福祉拠点 事業利用者数【延べ】 (人)	1,501	1,565	800	555	910		1,300	70%
「ふれあい・いきいき サロン」参加者数【3 箇所1日当たり】(人)	17	19	16	19	19		25	76%
介護職員初任者 研修受講者数 【期間累計】(人)	100	12	12	20	27		175	15%
寿大学受講者数(人)	1,289	1,240	1,137	897	802		1,800	45%

#### 4. 基本目標の評価

<p>新型コロナウイルス感染症の影響により、一部事業の中止や参加制限、施設の臨時休館等を行ったことから、KPIに関する実績値が全体的に低くなっている。</p> <p>また、出生数は100人を割る実績となり、新型コロナウイルス感染症の流行により、人と人の交流が制限され、経済的にも見通しの立たない状況がもたらす漠然とした不安感が影響したものと考え、母子保健事業や子育て支援事業、子ども医療費助成事業等、安心して子どもを産み育てることができる環境づくりのため実施している各種事業が出生数の維持に寄与しているものと考え。</p>	総合判定
	<b>C</b>
	あまり順調に進んでいない

#### 5. 今後の展開方針

<p>今後も関係機関が一体となり、子育てのニーズに応じた支援策を進めていき、若い世代が安心して結婚・妊娠・子育てできるような環境づくりに努める。また、令和5年度には手話奉仕員養成講座を実施し、手話を通して聴覚障がい者への理解促進を図る。</p> <p>さらに、子どもから高齢者まで、様々な世代が充実した生活を営むことができるよう、感染防止対策がとられたイベントの実施や、生涯学習センター「みなくる」を核とした各種事業の展開を推進する。</p>
---

#### 6. 検討推進委員会の意見等

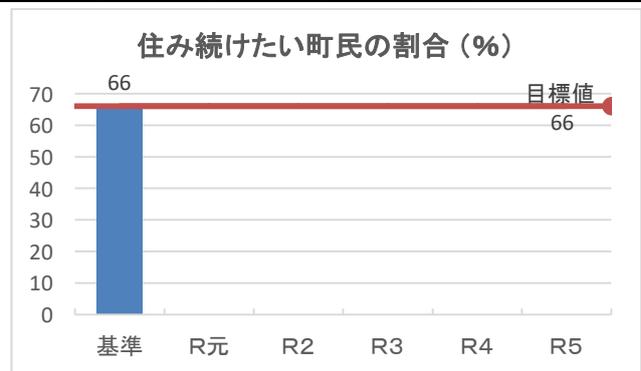
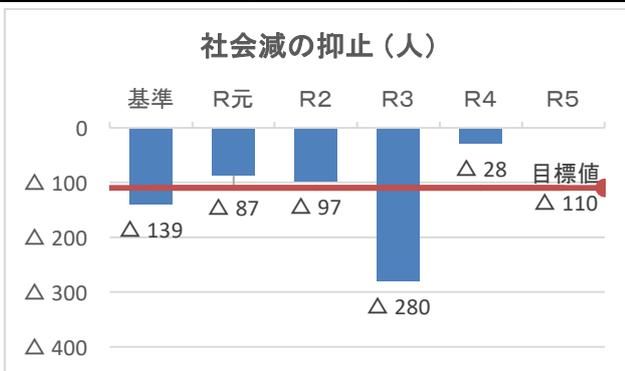
意見なし
------

# 別海町まち・ひと・しごと創生総合戦略 基本目標個別シート(令和4年度)

基本目標Ⅳ	時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守る						
関連するSDGsのゴール							

## 1. 数値目標の進捗状況

項目	基準値 (H30)	実績値					目標値 (R6)	達成度
		R元	R2	R3	R4	R5		
社会減の抑止(人)	△ 139	△ 87	△ 97	△ 280	△ 28		△ 110	393%
住み続けたい町民の割合(%)	66	—	—	—	—		66以上	—



## 2. 具体的な施策

(ア) 安心な暮らしの確保	地域情報通信環境整備事業、生活バス購入事業、高齢者等バス・ハイヤー共通利用券交付事業、土砂災害警戒区域対策事業、災害用備蓄資機材等整備事業、自主防災組織育成事業、地域防災センター改修等事業
(イ) 市街地の活性化	起業家支援事業、にぎわい商店街創造事業、地域貢献中小企業支援事業、町有地分譲事業
(ウ) 効率的・複合的な施設整備と地域活性化	生涯学習センター建設事業、協働のまちづくり推進事業、コミュニティ助成事業、振興奨励まちづくり振興事業
(エ) スポーツ・健康まちづくりの推進	パイロットマラソン事業、西春別スケートリンク整備事業、西春別温水プール整備事業、町営ランニングコースパークゴルフ場整備事業、町民温水プール整備事業、西春別ファミリースポーツハウス整備事業
(オ) 環境・エネルギー先進自治体の形成	二酸化炭素排出抑制対策、環境保全型かんがい排水事業、森林経営管理法に基づく意向調査及び河畔林の整備に関する事業

### 3. 重要業績評価指標(KPI)の進捗状況

項目	基準値 (H30)	実績値					目標値 (R6)	達成度
		R元	R2	R3	R4	R5		
高速無線通信事業加入件数【期間累計】(件)	117 (H21~)	0	0	0	0		30	0%
公衆無線LAN整備箇所数【期間累計】(箇所)	3 (H21~)	0	2	5		4	4	100%
高齢者バス・ハイヤー共通利用券給付者数(人)	523	601	638	670	706		625	113%
障がい者(児)バス・ハイヤー共通利用券給付者数(人)	227	242	264	257	230		300	77%
ノンステップバスの導入割合(%)	50	75	100	100	100		100	100%
自主防災組織等結成率(%)	62	62	81	81	82		84	98%
町有宅地分譲数【期間累計】(区画)	7 (H21~)	0	0	0	0		8	0%
空き店舗活用に対する支援数(件)	1	0	0	3	0		2	0%
起業者支援件数【再掲】(件)	3	11	8	15	6		7	86%
生涯学習「ふれあいトーク宅配講座」講座開講数(件)	26	17	14	18	20		50	40%
公民館利用者数(生涯学習センター)(人)	60,566	59,829	32,501	31,581	49,150		78,000	63%
公民館講座開設数(講座)	20	15	30	26	25		26	96%
寿大学受講者数【再掲】(人)	1,289	1,240	1,137	897	802		1,800	45%
スポーツ施設の利用者数(人)	133,650	147,868	121,900	108,141	120,426		161,000	75%
パイロットマラソン参加者数【町内フル・5km】(人)		342	0	0	257		300	86%
健康づくり事業への参加者数(人)	834	663	668	622	660		900	73%
町内公共施設の温室効果ガス排出量削減率(t-CO2)	12,381 (100%)	12,926	12,144	11,581	11,942		10,007 (81%)	96%
肥培かんがい施設整備数【期間累計】(戸)	11	9	9	9	34		25	136%
森林経営管理法に基づく意向調査実施人数【期間累計】(人)	—	100	100	200	480		600	80%

#### 4. 基本目標の評価

<p>光ファイバ整備工事が完了し、令和4年7月から町内全域で光サービスの供用が開始したため、今後は利用促進を図っていく。また、肥培かんがい施設整備数は令和6年度目標を超えて整備が進んでおり、環境に配慮した産業振興に向けた取組が進んでいる。</p> <p>人口減少は続いているが、新型コロナウイルスの行動制限が緩和されたことに加え、新規就農者や雇用の確保などの各種事業に取り組んだことで、前年度よりも転入者数が増加しており、社会減の抑制が図られたものとする。</p>	総合判定
	<b>B</b>
	概ね順調に進んでいる

#### 5. 今後の展開方針

<p>光サービスの回線利用率の向上に努め、公共施設における無線LAN整備に向けた計画を進めるとともに、農業(スマート農業)や教育(GIGAスクール構想)、防災等の分野における活用など、未来技術を活用した社会(Society5.0)をイメージしつつ、具体的な課題解決に取り組む。</p> <p>また、令和4年度から生涯学習センター「みなくる」の利用が開始したため、身近な学びの場、新たな交流拠点となるよう、各種事業の充実を図り、利活用を促進する。</p> <p>さらには、全ての町民がスポーツを楽しみ、健康づくりとスポーツ交流を図れるよう各種スポーツ施設の改修・整備を進める。</p>
---

#### 6. 検討推進委員会の意見等

<ul style="list-style-type: none"><li>・時代に合った地域という部分が漠然としている気がします。</li><li>・光ファイバーの関連もあるのかもしれませんが、高速無線通信事業への加入件数が0件とは？今後も加入が見込まれないのであれば、見直す必要があると考えます。</li><li>・町有宅地分譲数が0件とは？別海市街には多くの町有地が適正な管理もされないまま放置されているが、なぜ分譲しないのか？或いは利活用計画を示さないのか？</li></ul>
---